

立志

志をもち
自ら学び
ともに高め合い
逞しく生き抜く



令和5年5月31日(水)発行 校長 川崎 朗

有中最後の体育大会、有中魂を発揮してくれました!

5月21日(日)に有明中学校としての最後の体育大会となる第59回体育大会を開催しました。当日は素晴らしい青空の中に、久しぶりに多くの保護者や地域の皆様をお招きしての体育大会となりました。本年度のスローガンは「有中魂、最高のフィナーレ」でしたが、生徒一人一人がすべての種目に一生懸命に取り組み「有中魂」を発揮してくれました。開会式での紅軍岩石あさな団長、青軍坂下琥迫団長による思いの込められた選手宣誓、優勝トロフィーの返還では昨年度総合優勝が白軍であったので、昨年度白軍を担当して異動された高森先生に来ていただいて返還をしていただきました。

100メートル走、50メートル走、チャンスレースでは順位に関係なく最後まで全力で駆け抜ける姿を見せてくれました。

前半最後の「有中ソーラン」、最初の「構え」の声で見ている人を一気にソーランの世界に引き込みました。一つの力強い動き、真剣な表情で私たちを感動させてくれました。

後半は学級対抗全員リレー、学級対抗しっぽ取り、団対抗綱引き、団対抗リレーと団体種目が続きました。生徒は休む暇もあまりなかったと思いますが、疲れを見せることもなく、一つ一つの種目に全力を尽くす姿に客席からも大きな声援が送られました。

最後は、両団による応援団競演。この2週間の体育大会練習の中で最も多くの時間をかけ、団長を中心に生徒自身で話し合い、創意工夫をしながら完成させました。そして両団が創った応援パネル(旗)、それぞれの団のスローガンを見事に表ししていました。両団ともにすばらしい演技で、見るものを引きつけ、私自身、審査をされていて演技もパネルも甲乙つけがたいもので、他の審査員の方も「どっちもよかったね」「順位をつけるのが難しいね」などとお話をされていました。有中生の一生懸命に出会うことができた体育大会、まさに有中のフィナーレを飾るにふさわしい見事な体育大会だったと思っています。そしてここで経験したことや学んだことをこれからの学校生活の中で、どのように生かし、自分の成長の糧にしてくれるのか本当に楽しみであり、大いに期待しています。

保護者や地域の皆様にも暑い中、たくさんお越しいただき、精一杯の拍手や声援をいただきました。生徒も本当に励みになったのではないかと思います。3月まで、有中生の一生懸命に出会える機会は、まだまだたくさんあります。保護者や地域の皆様からも温かい応援をいただきますよう、よろしくお願いします。





【一つ一つの写真から生徒の一生懸命さが伝わってきます。素晴らしい思い出になりました。】

1学期も折り返し、次に向けてステップアップです!!

体育大会も終わり、気がつけば5月も今日までとなりました。本当に早いもので、1学期も半分が終わって折り返しを迎えました。4月に入学、進級して新しい友人や環境での学校生活が始まりました。5月は体育大会に向けて情熱をかけて取り組んでくれました。いよいよ1学期も後半戦です。さらにステップアップしてほしいと思っています。6月には本年度最初の定期テストである前期中間テストがあります。7月に入ると地区から県、九州、全国と進む中学総体があり、有中として出場する最後の中体連となります。

中学校生活の中では行事は大変重要であり、行事に向き合う中で成長していくことがたくさんあります。まずは中間テストに向かってしっかりと取り組みましょう。決まった時期にテストがあり、テストのたびに学年や学級での順位が出されることなど、1年生にとっては初めてのことで不安を感じている人もいると思います。でも、テストはあくまでも日頃の学習の成果を見るものです。授業で習ったことしかテストには出ません。逆に言えば、毎日の授業を大切にすることが一番のテスト勉強です。では、テスト前には何をしなければならぬか？まずは、これまで授業でやったことをしっかりと見直して確認することです。授業では分かっているけど時間がたてば人は忘れます。ですから、テスト勉強ではできることとできないこと、覚えていることと覚えていないことをしっかりと区別してできないことや覚えていないことをもう一度頭の中にインプットしましょう。その積み重ねが自分の実力を高めることになります。この考え方は勉強もスポーツも同じです。自分の目標に向かって、それを達成するために何をするのかを考え、それをやり続けることが大切です。何もしないで急に結果が出ることはありません。「継続は力なり！」です。